

本町ガーデンシティテラス

Hommachi Garden City Terrace

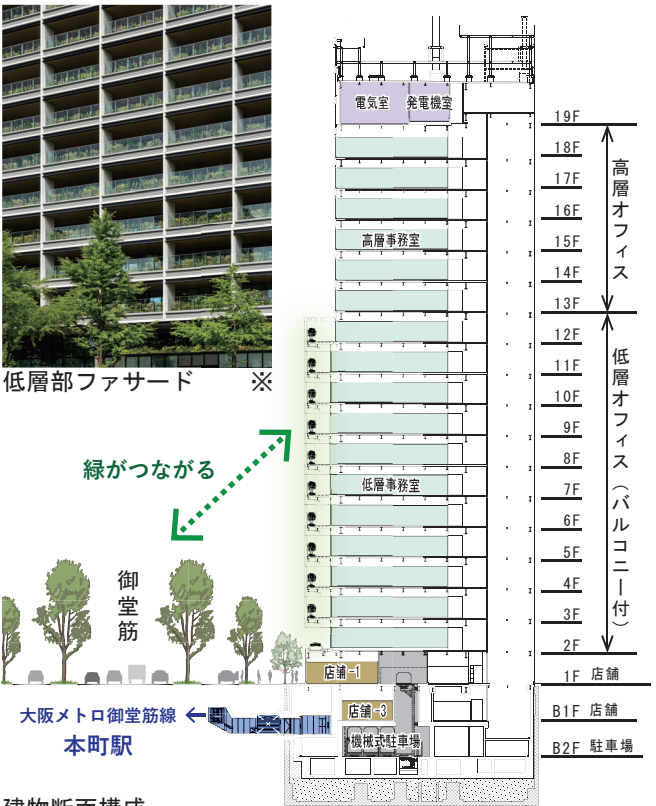
No. 03-084-2024作成

新築
事務所

発注者	積水ハウス株式会社	カテゴリー			
設計・監理	株式会社大林組、株式会社日本設計（基本設計） OBAYASHI CORPORATION, NIHON SEKKEI INC.	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術／FB
施工	株式会社大林組	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他	

緑のバルコニーで人と街に賑わいを与えるテナントオフィス

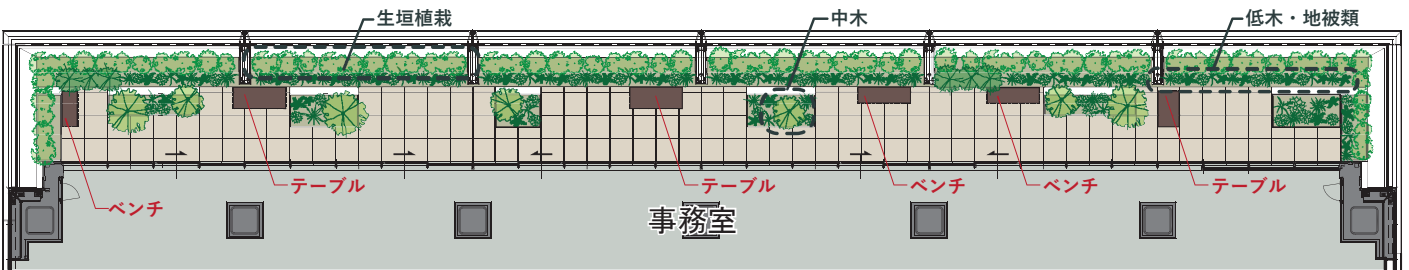
御堂筋に面するバルコニーを有する快適なテナントオフィス
大阪のシンボリストリートである御堂筋に面する緑豊かなバルコニーが特徴的なテナントオフィスビル。地区計画により生じる4mのセットバックを利用し、低層各階に延べ面積不算入となる開放性を有するバルコニーを計画した。
バルコニーの緑が御堂筋のイチョウ並木と調和することで街とつながり、御堂筋を歩く人やビルで働く人に緑の潤いを与える建築を実現した。バルコニーを支える梁を4mのキャンティレバーにすることで、バルコニー先端に必要な柱と杭を削減し、低層部を街に開いた開放的な空間とした。ビル低層部は壁面後退部分と歩道が一体的な歩行者空間として賑わいを生み出している。御堂筋のイチョウ並木と敷地内の高木、バルコニーの緑がつながり、御堂筋に新たな緑の都市景観を創出している。



南西面遠景 ※撮影：伸和
御堂筋と地下空間を光と緑でつなぐサンクンガーデン
大阪メトロ御堂筋線の本町駅と直結するサンクンガーデンは御堂筋と地下空間を立体的につなぎ、自然光や御堂筋のイチョウ並木の風景を取り込むことで、メトロ利用者に緑豊かな空間を提供している。御堂筋の歩行者空間からサンクンガーデン、ビル内の吹抜を緑でつなぎ、新たな街の一部としてデザインすることで、都市の賑わい形成に寄与している。



テナント入居者が自由に使える緑のバルコニー/食餌木による緑のネットワーク
光や風、緑、時の移り変わりを身近に感じられるリビングのようにリラックスできる空間こそ、ワーカーの知的生産性を高め、健康を育む環境を創出すると考え、都心にありながら自然や時の移ろいを感じられる、快適性を追求したオフィス空間を実現した。バルコニーの外周部には生垣状に植栽を配し、均整の取れた御堂筋の街並みとの調和を図った。オフィス側は中木や低木、家具をランダムに配置することで、視線の抜け方や室内からの見え方に変化を持たせ、ワーカーの自由で快適な働き方を誘発する計画とした。バルコニー植栽は北摂エリアの自生種を中心に多様な樹種を選定し、四季の移ろいを感じられるバルコニーとした。外構高木もナナミノキ・シラカシといった鳥や虫の食餌木を採用。生態系や都市に点在する緑のネットワークづくりに配慮した植栽計画とした。



バルコニー平面図



11階事務室

快適な室内環境と省エネルギー性能の両立

①自然を身近に感じられる快適なバルコニー空間

奥行きのあるバルコニーによる日射抑制と高遮熱断熱型のLow-E複層ガラスにより日射負荷を低減。フルハイトの開口による眺望・採光と省エネ性能の両立を図った。

②自然換気・全熱交換器

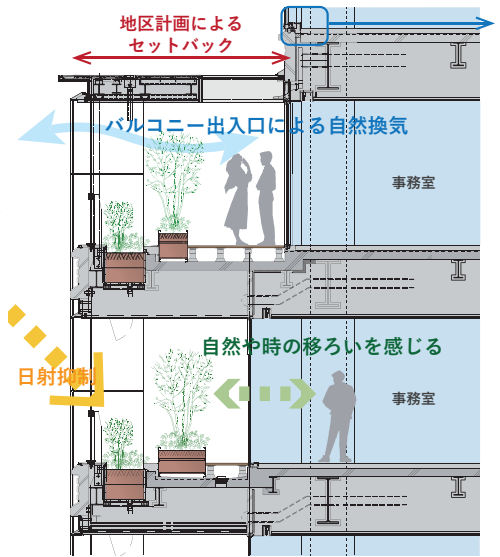
低層オフィスはバルコニー出入口から、高層オフィスは自然換気装置によって、全フロアで自然換気ができるように配慮。直膨式全熱交換器により効率的な換気を実現した。

③CO₂削減・省エネルギー対策

既存建物の地下躯体を残置する計画とすることで、CO₂削減に寄与した。
空調は高効率型空冷ヒートポンプ式エアコンを採用。12の空調ゾーニングにより、必要箇所のみ稼働可能な計画とし、節電・省エネに配慮した。また、全館LED照明を採用することで、照明エネルギーを低減。オフィス内は昼光センサーによる照明制御により、自然光による採光を最大限享受しつつ、省エネ性能に配慮した。その他、セキュリティ連動による空調・照明の消し忘れ防止にも配慮した計画とした。

設計担当者

（基本設計・実施設計・監理）統括：黒川宗範／建築：稲葉一秀、飯田久、中谷真、辰井悠記（元社員）、殷小文、林泰宏／構造：西影武知、伊藤祥二、市川幸弘、足立朋子、野口浩平、吉田昇平、久保田大貴／設備：山本雅洋、古川和彦、中西直、森井規夫、木村公則、高田裕子、滝亮太、濱下勇樹、旗谷守将、坂本将、松見宗樹、岡崎慧矢
（基本計画・基本設計）統括：篠崎淳／建築：山口泰弘、東野晋二、寺崎雅彦、吉田秀樹、五十嵐大輝／構造：西川大介、塩見庸／設備：佐々木真人、橋本健史、洪田周平、丸山由香



建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	大阪府大阪市	BEI値 0.64
竣工年	2023 年	BPI値 0.92
敷地面積	1,487㎡（船場建築線後退後の敷地面積 1,410㎡）	LCCO ₂ 削減 28 %
延床面積	19,146㎡	ZEB Oriented認証
構造	S造一部SRC造	
階数	地下2階、地上19階	

主要な採用技術（CASBEE準拠）
Q3. 1. 生物環境の保全と創出（大阪の自生種を中心にバルコニー植栽を選定、食餌木の採用により緑のネットワークを形成）
Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（御堂筋のまちなみに調和、イチョウ並木とバルコニーの緑による立体的な緑の景観を形成）
Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮（地下鉄接続部に自然光やイチョウ並木の風景を取り込むサンクンガーデンを形成）
LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制（奥行のあるバルコニーによる日射抑制と高遮熱断熱型Low-E複層ガラスの採用）
LR1. 3. 設備システムの高効率化（直膨式全熱交換器の採用、全館LED照明、昼光センサーによる照明制御）
LR3. 2. 地域環境への配慮（バルコニー植栽により御堂筋に緑の潤いを提供）

サステナブル建築事例集／一般社団法人日本建設業連合会
※本事例シートおよび記載内容の二次利用を禁止します